

2025(令和7)年度 中堅層向けSD研修  
 「“未来を創る”次世代リーダー養成プログラム」  
 受講者アンケート結果

回答者数12名/受講者数13名 回収率92.3%

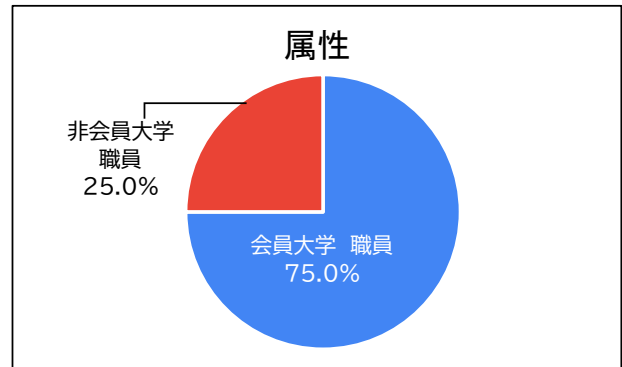
【回答者について】

(1)属性

単位:名

会員大学 職員	9
非会員大学 職員	3

12

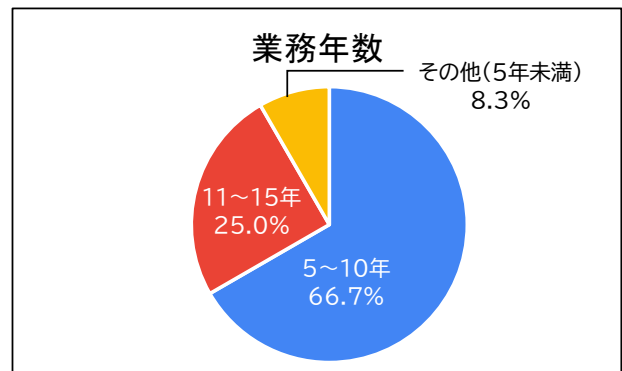


(2)業務年数

単位:名

5~10年	8
11~15年	3
その他(5年未満)	1

12



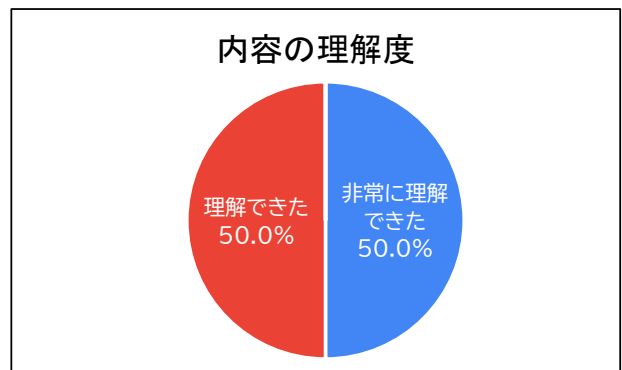
【研修内容について】

(1)内容の理解度

単位:名

非常に理解できた	6
理解できた	6
どちらでもない	0
あまり理解できなかった	0
全く理解できなかった	0

12

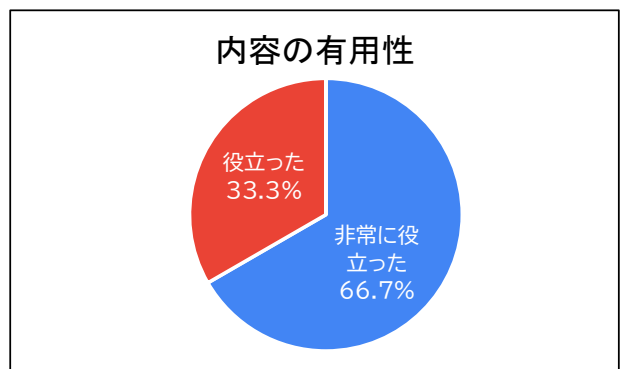


(2)内容の有用性

単位:名

非常に役立った	8
役立った	4
どちらでもない	0
あまり役立たなかった	0
全く役立たなかった	0

12



### (3) 研修内容に関する感想や改善点について

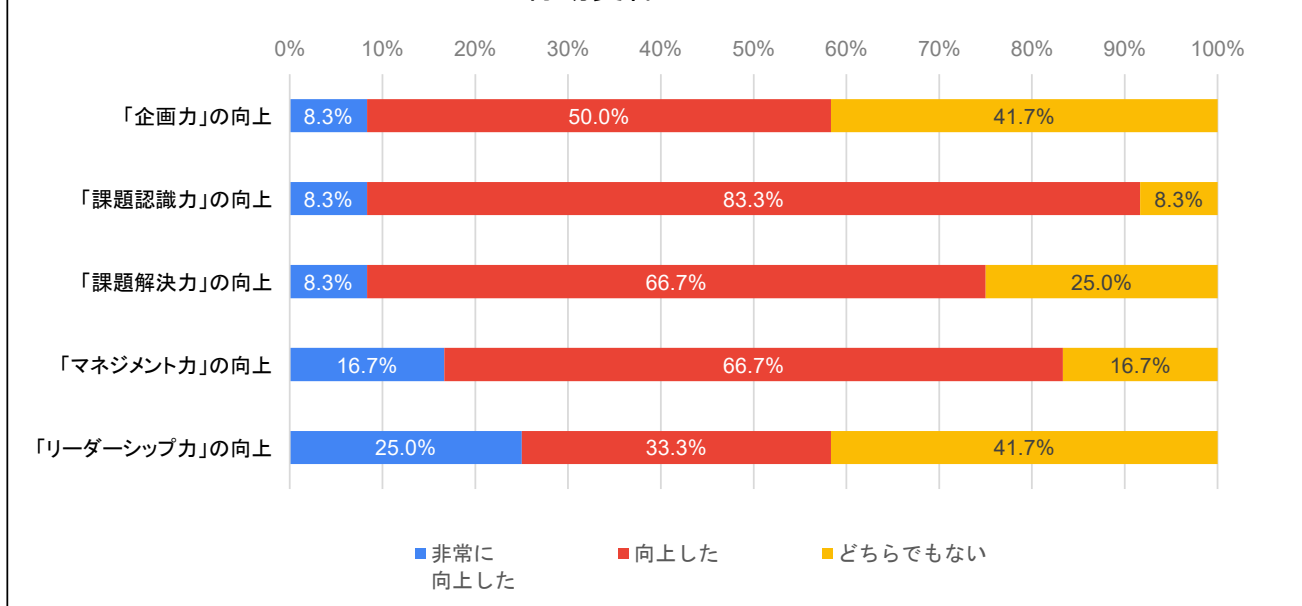
・複数の講師の方々から、それぞれの視点で多角なお話を伺うことができ、深い学びを得ることができた。昇格して以来、上司と後輩の間でどのように立ち回るべきか、自身の役割に悩んでいたが、本研修を通じて、中堅層に求められるスキルやマインドセットを理解でき、ようやく目指すべき中堅職員像が明確になった。
・自身の立ち位置、ベンチマークが理解できた。登壇された皆様が中堅層として何に悩み、どう解決したかを詳しくお話いただいたのはよかった。
・中堅層に求められる「チームの活性化」について、意識するチームの範囲を部署内から大学内へと拡大させることができた。研修を振り返り、研修のねらい・目的／目標等についてさらにかみ砕いていきたい。
・長く大学職員をやっておられる方の経験や経歴を踏まえたお話を聞けて、とても勉強になった。
・自身の気持ちが改まった気がする。とても素晴らしい講師の方たちばかりで非常に勉強になった。
・大変有意義な時間を過ごすことができた。小中規模大学で、年齢構成に偏りがある場合のキャリア形成のパターンについても、今後ぜひ伺ってみたい。
・先輩方のお話を聞くことができ、グループの方とも交流できたのでとても有意義だった。可能であれば、もう少し時間に余裕があると、他の方ともより交流が深められたかと思う。
・研修内容はとても分かりやすく、有意義な時間だった。ただ研修の開始時間を早めるのであれば、予定通りに終了する方がよいと思う。
・研修の標題に関してだが、今回のタイトルでは自薦で手を挙げる際に周囲から揶揄されるのがイヤで、恥ずかしくて遠慮してしまった人もいたのではないかな。タイトルを改善することで、もっと多くの人に参加できるように思う。

### 【行動変容について】

単位:名

	非常に向上した	向上した	どちらでもない	あまり向上しなかった	全く向上しなかった	
「企画力」が向上したと感じるか	1	6	5	0	0	12
「課題認識力」が向上したと感じるか	1	10	1	0	0	12
「課題解決力」が向上したと感じるか	1	8	3	0	0	12
「マネジメント力」が向上したと感じるか	2	8	2	0	0	12
「リーダーシップ力」が向上したと感じるか	3	4	5	0	0	12

### 行動変容について



「企画力」を身に付けるために「企画立案のプロセス」のどの部分が特に役立ったか

- ・ステークホルダーを理解するという部分。
- ・相手の立場に立って検討すること。

「課題認識力」向上のために特に役立った具体的な方法や技法

- ・境界線の押し付け合いについて、定数ではなく変数を見つけ出すという方法に納得がいった。
- ・ケーススタディから、状況を文字化することで理解しやすくなることがわかった。

「課題解決力」向上のために特に役立った手法やアプローチ

- ・課題解決のためには「定数」ではなく「変数」を探すと話がとても印象的だった。

「マネジメント力＝物事を整理し、周囲と協力して適切に進める力」向上のために特に役立った手法やアプローチ

- ・相手の立場や考え方を理解して、発言や行動すること。自分の当たり前が本当にそうかどうかを考えて行動すること。

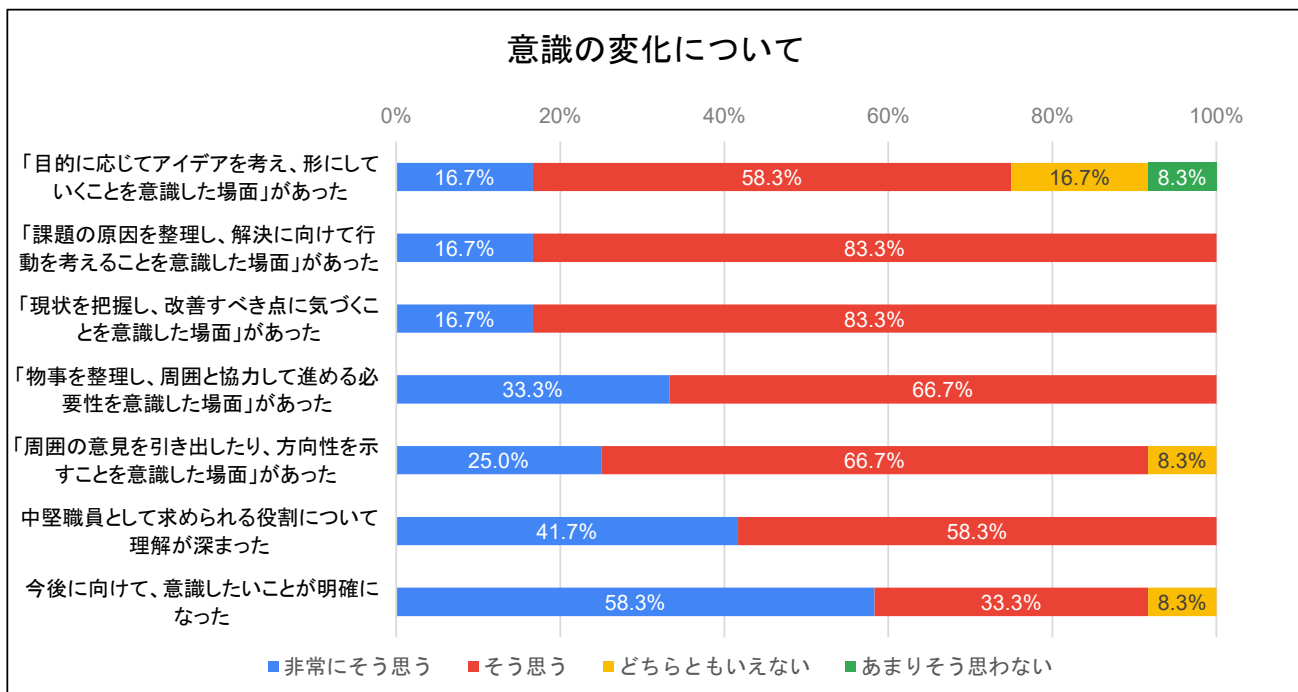
「リーダーシップ力＝周囲の意見を引き出し、方向性を示しチームを前に進める力」向上のために特に役立った手法やアプローチ

- ・意見を言えてない人がいないか目を配り、こちらから「どう思うか？」等、聞きだすこと。

【意識の変化について】

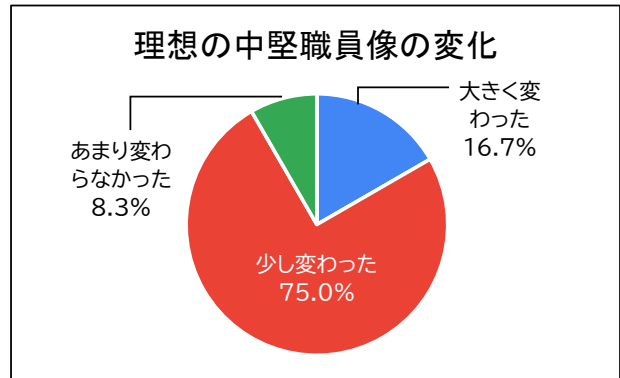
単位：名

	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	
「目的に応じてアイデアを考え、形にしていくことを意識した場面」があった	2	7	2	1	0	12
「課題の原因を整理し、解決に向けて行動を考えることを意識した場面」があった	2	10	0	0	0	12
「現状を把握し、改善すべき点に気づくことを意識した場面」があった	2	10	0	0	0	12
「物事を整理し、周囲と協力して進める必要性を意識した場面」があった	4	8	0	0	0	12
「周囲の意見を引き出したり、方向性を示すことを意識した場面」があった	3	8	1	0	0	12
中堅職員として求められる役割について理解が深まった	5	7	0	0	0	12
今後に向けて、意識したいことが明確になった	7	4	1	0	0	12



**【理想の中堅職員像の変化】**

理想の中堅職員像に変化はあったか	単位:名
大きく変わった	2
少し変わった	9
どちらでもない	0
あまり変わらなかった	1
全く変わらなかった	0
	12



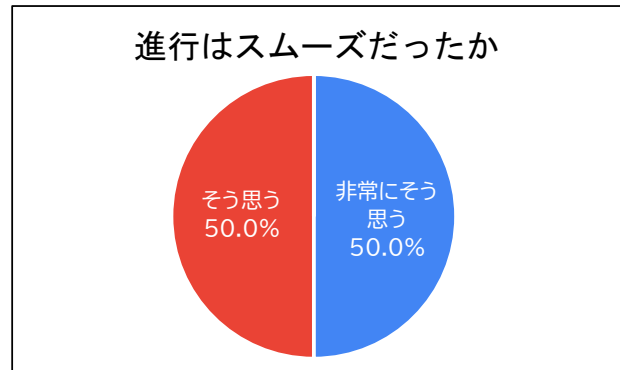
**【成長課題】**

**あなた自身が認識した「中堅層としての成長課題」**

- ・課内、課外の関わる人達の立場や状況を深く理解すること。
- ・自身が学び続ける姿勢をもつことが大事だと感じた。自分なりにリーダーシップをとっていけたらよいと思う。
- ・巻き込み力の強化。
- ・全体を見る力を持って、他部署を巻き込みながら課題解決する力を持つこと。
- ・相手の立場を理解すること。学生だけでなく教員など自分が普段関わらない相手にもわかりやすいか、自分が当たり前と思っていることが本当にそうか、など相手のことをもっと考えることが課題だと感じた。
- ・実務で手一杯になってしまっており、プラスアルファの仕事の比率を高めることができない。よくも悪くも業務に慣れてしまっていること。
- ・学びと経験から得る成長を糧に、現場を理解し変革するハブになる視座の高い職員になりたい。
- ・自分なりのリーダー像を持っておくことだなと感じる。ただ、詳しいところまでは考えきれていないので、キャリアの棚卸をしながら考えていきたい。
- ・これまでのやり方に囚われずに自身の視座を変え、自部署の境界線を越えて、より良い大学を目指せるよう、対話を始めること。また大学の未来を創る役割を担えるよう、奨学金業務の高い専門性、複数領域の知見、大学問題に関する知識を習得すること。
- ・企画をあげる際や問題・課題が発生した際に、自部署や関係者のみで考えを巡らせていたが、今後は異なる立場・部署・学部、学生・教員、さらには外部のステークホルダーの目線を考え、視座を高く視野も広げ、物事を捉えていきたい。
- ・現在は自身の業務で余裕がなくなることがあるが、今後は業務が多くなった時でも、周囲のことにアンテナを張って、周囲の方を気にかけることができるような余裕を持っていきたい。
- ・本学において、自身はまだ中堅層とは言い難いキャリアであるが、次のステップに進むためうえて大切な視点を学べた。他大学では同年代が中堅として活躍している実態を知り、自大学ではどのようにキャリア形成を進めていくべきか、人事として改めて考える必要があると感じた。

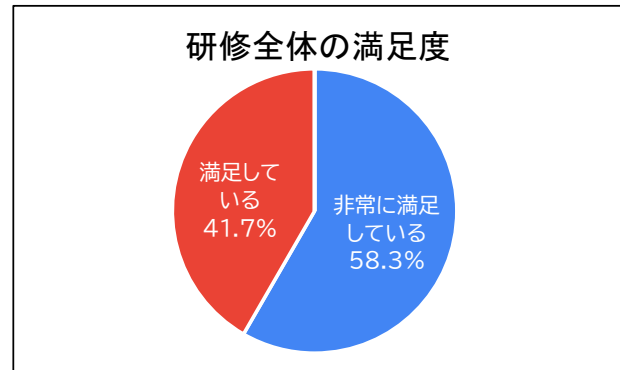
**【研修の運営について】**

進行はスムーズだったか	単位:名
非常にそう思う	6
そう思う	6
どちらでもない	0
あまりそう思わない	0
全くそう思わない	0
	12



**【研修全体の満足度】**

どの程度満足しているか	単位:名
非常に満足している	7
満足している	5
どちらでもない	0
あまり満足していない	0
全く満足していない	0
	12



## 【研修の開催時期について】

開催時期(2月末)は適切か

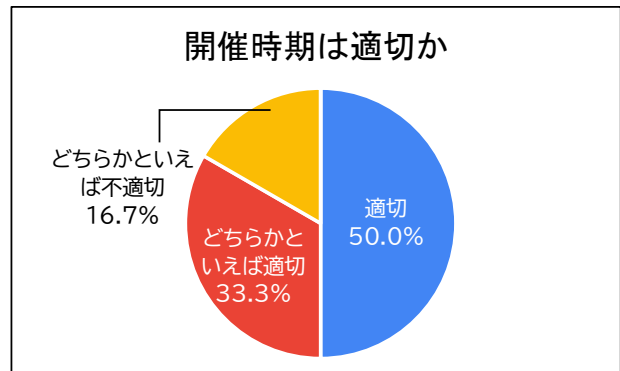
単位:名

適切	6
どちらかといえば適切	4
どちらかといえば不適切	2
不適切	0

12

[希望する開催時期]

- ・7~10月頃
- ・夏



## 【今後の研修への期待・要望】

### (1) 今後、大学コンソーシアム大阪で実施してほしい研修

・スキルアップ研修。
・後輩育成方法やリーダーシップ力に関する研修。
・定期的の中堅層向けの研修を開催してほしい。

### (2) その他

・遠方からの参加であったが、大いに価値があった。今回の研修は、本学の中堅層職員にも薦めたい内容であった。
・中堅向け研修として、今回のようなテーマは学内外にもなかったので、非常に参考になった。
・とても有意義な内容だった。期間が空くと、無意識に自分の理想の中堅職員像が薄れていってしまうこともあるかと思うので、同様の内容の研修があった際も、自身を見直すため参加させていただきたいと思う。
・中堅層向けということで如何様にも幅を拡げられる中、限られた時間内で得られたものは大きかった。また他大学他部署の職員の方との交流は新鮮で、異なる目線に多くの気づきがあった。